

調查結果一覽表

<農機事例> I. 農機一般

1. 草刈機

連続 NO	機種 NO	地区 名	性別	年齢	受傷年月等			発生 場所	農業 種類	事故状況	主要原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 1 通院 2 死亡 3 通院せず 4 不明 -
					年	月	時								
1	1	富 山 県	1	67	2 0 0 9	6	1 1	水田 道路	管理	用水路の斜面を草刈していたらU字溝を踏み外して足を滑らせる。その時は、滑りやすい水田長靴を履いていた。当日、雨が降っており滑り易かった。年4回ぐらい草刈する。労災には入っていた。	傾斜角が強い法面の下部で狭いU字溝に乗った状態で、不安定であった。	U字溝に、板などを敷いて、足場を確保する等の工夫が必要	近くに止めていた軽トラで自宅にたどり着く	右アキレス腱断裂	1
2	2	富 山 県	1	76	2 0 0 6	7	7	畦	管理	田んぼのくろの傾斜が40度以上ある所で草刈中、草刈機のエンジン部分が、後ろの立木に当たって、その反動で、斜面より転落し、用水の一番深い所に落ちる	急斜面での草刈りで、足下や前だけに注意が集中し、草刈機など、身体より後ろに突き出るものに注意が向かなかった	その後、自家製の小段を設けた	携帯電話をもっておらず、連絡がとれなかった。100m以上ある畦を這いずって行った	右踵骨骨折	1
3	3	滋 賀 県	1	61	2 0 0 8	7	1 0	道の 法面	管理	動力草刈り機で約6m、斜度40°の法面の草刈中、下から約4mの所を足場を固めながら刈っていて、約1時間した頃、足下が滑って4m下に尻と背中が滑るように滑落。草刈機は、しっかり握っていたので、切創などもなく、背中と尻で滑ったので、身体的創は無かった。	急斜面での草刈りで、足場や姿勢を安定にする事が困難なため	・小段を設ける ・スパイク付きの履き物の着用 ・シートで法面を覆う 現在は、一部コンクリートで固めた		なし	4
4	4	滋 賀 県	1	57	2 0 1 0	4	1 1	道の 法面	管理	竿式の動力草刈り機を肩掛けせずに、約2.5m、斜度50°の法面の草刈中、いつもはしているスパイクを着用せず草刈をしていて道路下90cmに滑った。転倒はしなかったが、草刈機のマフラーに触れてやけどをした。	・いつもはしているスパイクをしておらず、滑りやすかった ・マフラーカバーは、オイルが付着して汚れるので、外していた	・スパイクの着用 ・様々な場面で使用できる様々なスパイクの開発		右手首軽度熱傷、医療機関に行かず	4
5	5	栃 木 県	1	63	2 0 1 0	8	7 : 3 0	県道の歩 道と畦の 境	水稻	田の畦畔の草刈を始めたが空き缶など畦にあったので取り除こうと、エンジンをかけたまま、道路の縁石に、刃の手前の操作棹部を載せておいた。後ろを向いてゴミを取っている間に刈刃が回転しながら路面を移動してきて刃が左足に当たった。	草刈り機のエンジンを掛けたまま、道路に置いたこと。スロットルレバーを戻しても刃の回転が止まらなかったこと。	エンジンを止めることの徹底。古い草刈り機でも、手を離せば刃の回転が止まるよう改良。	事故直後、500m離れた内科医院へ自力で軽トラを運転して行き、そこから救急車で外科病院へ行った	左足首切傷	2

1. 草刈機

連続 NO	機種 NO	地区 名	性別	年齢	受傷年月等			発生 場所	農業 種類	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 1 通院 2 死亡 3 通院せず 4 不明 -
					年	月	時								
6	6	長野県	1	76	2011	9	11	畦	水稻	土手の草刈り中、手でヨケの草を取ろうとして、エンジンを止めずに下に置いた草刈り機の刃に左足が触れて受傷した。	草刈り機のエンジンを止めずに他の作業をして、一瞬忘れた。	草刈り機の改良。スターター。アイドリング時の刃回転停止など	太ももをロープで縛り、自車で病院受診。「運転禁止」といわれたが少し休んで運転して帰宅	左下肢切創	2
7	7	新潟県	1	69	2010	8	16:00	畦	管理	左手で刃に巻きついたつるを掃おうとしていたとき、草刈機の刃が土手に接触し、刃が跳ね返り、左手の甲に刃が当たり怪我した。	エンジンのかかったまま、草刈り機のつるを取り除こうとした。	草刈り機のエンジン停止。エンジンのかかりやすい機種の検討。	携帯電話で娘に連絡、娘が救急車要請、現場に直行。それまで左手を上げ、傷口を押さえていた。	左手筋損傷	1.2
8	8	兵庫県	1	66	1988	7	16	畦	管理	背負い式の草刈機で草刈り中、刈刃周辺に草の塊ができ、詰まりかけたので、左足で草をはねのけようとして、回転刃で足の親指を切った。	エンジンを切らずに、刃に絡んだ草を取ろうとした	・回転刃はエンジンを止めて作業	自車で病院受診	左足親指先端挫減受創	2
9	9	新潟県	1	73	2010	9	16:00	水田の畦	水稻	水田の畦の草刈中に、動力草刈機が木の古株に当たり、その反動で草刈機が跳ね返り、エンジン部分が左の腰にぶち当たった。	草丈が高く、エンジン全開での作業のため反動が大きかった。	年に数回の草刈り作業を計画的におこなうことの指導が必要。	携帯電話圏外、自車で帰宅、救急車要請、血液サラサラ薬を飲んでいたので、打撲の後の内出血がひどかった	腰打撲	2
10	10	富山県	1	35	2008	6	7	河川の法面	管理	25人くらいで、河川敷約200mの草刈中。草が蔓が多いのでヒモのものでは刈れないのでチップソーを使って急斜面、35°で石が跳ねて、足に当たった。草丈が1m20～30cm以上と高く地面の様子が良く分からず、とにかく石はパンパン跳ねてはいた。長靴は滑るのでスニーカーを履いていた。お互いは、とにかく離れて離れて刈っていた。	河川敷に石が多いのは分かっていたが、勢いで石を跳ねてしまった	新しい場所、久しぶりに刈る場所での草刈作業では現場の事前確認をする	作業中は気がはっていて気がつかなかったが、作業を続けていた。翌日受診、X線撮影、異常なく湿布程度で終わる	左足下肢打撲	2

1. 草刈機

連続 NO	機種 NO	地区 名	性別	年齢	受傷年月等			発生 場所	農業 種類	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 1 通院 2 死亡 3 通院せず 4 不明 -
					年	月	時								
11	11	富山県	1	56	2008	8	11	道	管理	お盆が近く、20年近く草刈をしていない自宅の裏の約1mくらいの草丈の草刈中、穴に落ちた。この地域は地滑り地帯で、20年くらい前の工事の際に、排水溝として1.5mくらいの穴が設けてあったが、蓋がされておらず、草丈の事もあり、まさかそんな所に穴が空いているとは思わず、落下した	穴が空いている事は、目視だけでは確認出来なかった	地滑りの対策工事の際に、排水溝に当然蓋をすべき、また新しい所、久しぶりに行う草刈現場は、事前に環境確認を行う	家のすぐ近くだったので、携帯電話をもっておらず、約4mの斜面を這い上がるのに、30分以上かかって、家人の助けを求める	左アキレス腱断裂	1
12	12	富山県	1	26	2008	6	16	倉庫跡	管理	草刈中、草むらの中で番線をはじき安全靴を貫いて、足の甲を貫通した	公用地であり、草丈80cm位で、草むらになにかがあるか分からず、誰かが番線を捨てていったらしい	初めて作業する現場で、かつ草丈の高いところは、現場確認を事前にする	近くの診療所で、番線を脱いでもらった	右足背部裂創	2
13	13	富山県	2	57	2008	8	17	農道	管理	いつもは、ゴーグルをして草刈をするのだが、その日に限って、「少しの時間だから」とゴーグルをせずに草刈り中、チップソーが目に飛び込む	防護の不備、また草刈機の安全カバーは、草が絡むと言うことで外してあった	防護の徹底	軽トラで帰宅、近医受診、翌日総合病院紹介、入院	右眼眼内異物 右眼角膜裂傷	1
14	14	富山県	1	68	2009	7	15	道の法面	管理	法面、約10m、斜度が50～60度で草刈り作業中、汗がでたので、エンジンを止めず、防護眼鏡をはずし、操作桿を地面に置いて汗を拭こうとして、回転していた刈刃が小石にあたり、それが左目を直撃	エンジンを止めずにゴーグルを外した	エンジンを止めるべきであるが、急斜面であり、再度作業を再開するには、斜面がきつすぎ、セルモーターで不安定な場所でもエンジンをかける事が出来る構造の草刈機の開発も必要	当日は、痛いと思ったが放置、2日後の朝突然、目の前が真っ暗、近医を受診、総合病院に転院、手術	左眼眼球内異物 眼内炎 外傷性白内障 網膜裂孔	1
15	15	滋賀県	2	76	1996	7	13	畦	管理	動力草刈り機で夏暑くて見えにくいので保護めがねをせずに草刈り中、瓦の破片が飛んできて眼に刺さった。	防護の不備、また草刈機の安全カバーは、草が絡むと言うことで外してあった	・夏の暑いときにも快適に出来る防護装備の開発 ・安全カバーも草が絡まない仕組みのものの開発を	近医を受診するも、対応できず、大津日赤へ転送、事故後2時間	虹彩前部の前 眼房刺傷、 眼房水破水、 2針縫合	1

1. 草刈機

連続 NO	機種 NO	地区 名	性別	年齢	受傷年月等			発生 場所	農業 種類	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 1 通院 2 死亡 3 通院せず 4 不明 -
					年	月	時								
16	16	栃木県	1	71	2011	8	11:00	田の畦	水稻	田の畦草刈中、畦の平場を刈り、次に30cm程度の斜面の草を刈り上げていた。作業姿勢は左足を法面中段に置き、右足は後方に置いた。刈刃が右畦畔下に戻した時キックバックし、刃が左側に跳ね上がった。その時、長靴を履いていた左足親指まで刈刃が到達。	右から刈り上げるときの草刈り機の手順の間違い。	右からの草刈り作業では、右下の石や杭、木の幹などでキックバックすることが多いことの体験学習。	その場で長靴を脱ぎ、妻に手ぬぐいで縛ってもらい、自力で病院へ	左足第1趾切傷	2
17	17	滋賀県	2	69	1978?	7		川渡り中	管理	圃場へ行く途中の川を渡っているとき、石の上で滑って転倒し、草刈り機刈り刃で負傷、エンジンを駆けていなかったが、剥き出しの刃で手を受傷	滑りやすい川を、草刈機をもってわたっていた	・草刈機を運搬する際の、刈刃を覆う安全カバーを、草刈機のグッツとしてセットで販売を検討	事故直後、痛くてしばらく動けず、自力で帰宅、自車にて地元病院を受診	右手第4指基底骨折、筋断裂	2
18	18	佐賀県	1	63	2005	8	16	畦	管理	回転刃の草刈機で畦草を刈っていて、約3時間作業して終わりに近づいた頃、畦横の側溝に刃を接触させ、反動で足を負傷。草刈機のベルトは背中では交差するタイプで強い反動が帰って来た。	回転刃で、コンクリートがすぐ横にある場所で草刈をしており、常に接触の危険をはらんでおり、また長時間連続で作業をしており、疲労があり集中力が欠けていた	コンクリートなどがある場合は、極力ヒモの草刈機の使用を、休憩を適切に取る	自分でタオルで止血し、500m離れた自宅まで自力で軽トラで帰宅、119番通報、5分位で到着、救急隊員の判断でドクターヘリ要請、久留米医大病院へ、10分後到着	左足人差し指裂傷（10針縫合）	1
19	19	富山県	1	52	2008	8	9	町内林道	管理	町内草刈に出役し、10数人で作業中に右手指をすずめ蜂に刺された。	草刈機が何台も動いており、スズメバチが驚いて攻撃してきたのか。当日、スズメバチが攻撃しやすい黒い服装、黒っぽい手袋をしていた。	・白っぽい服装で草刈をする ・スズメバチの場合、巣をいきなり攻撃すると、一斉に蜂が攻撃してくるが、事前に働き蜂が警戒行動で飛び回るので、そのサインを見逃さない	アフラキシーを起こし、呼吸困難になった。周辺にいた人達が、救急車を呼び搬送	スズメバチ刺傷	2

2. コンバイン

連続 NO	機種 NO	地区 名	性別	年齢	受傷年月等			発生 場所	農業 種類	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 1 通院 2 死亡 3 通院せず 4 不明 -
					年	月	時								
20	1	新潟県	1	78	2011	9	12:30	圃場	水稻	籾タンクを空にして、タンクをよく見たら、スロアの上の箇所に籾が残っていたので、掃おうとして左手が巻き込まれた。手がとれなくなった。	エンジンを止めずにスロアの籾を取り除こうとした。	講習会の開催	奥さんに救急車と工作車を呼んでもらった。工作車を呼んで機械を切断してもらったが、農協の農機担当なら部品を外せた可能性も高い。	左手指裂傷	2
21	2	新潟県	1	53	2011	10	14:00	格納庫前	水稻	コンバインの中に残っている籾を取り除く為、搬送スクリュウのカバーを開き、揺さぶっていた時、右手人差し指がスクリュウに挟まれた。	エンジンを切らずに搬送スクリュウの掃除口の作業に当たった。焦りもあった。	危険箇所の清掃時はエンジンを止める。	妻に救急車の手配と親戚の叔父さんと呼ぶように指示。切れた指先を探し出し、袋に氷と一緒に入れて受診。他の病院に転送されたが、指の接合は無理だった	右手人差し指切断	1.2
22	3	富山県	1	47	2008	9	5	田	水稻	袋取りヤンマーコンバインにて、前日、作業をしたが、ぬかるみがひどくて潜り込んだため、5:30頃より父親と、コンバインを板などを敷いて、ようやく脱出。さらにぬかるみの所を刈ろうとして、少し刈った時点で、籾にどの程度露がかんでいるか確認のためエンジンを止めずに、タンクに手を入れ、籾吹き出し口のスロアーに手を伸ばし、籾を受け止めようとして、左手母指を巻き込まれた	棚田で、圃場状態はぬかるんでいて、籾に露のかかり具合を確認するため、エンジンを切らずにスロアー付近に手を出した	・棚田でぬかるみ状態であり、これまでも毎年、コンバイン、トラクターが潜り込み、条件のいい状態での機械作業が出来ておらず、土地の構造改善を含めての対応が必要	父と一緒に仕事、事故直後、家まで送り、妻に病院へ、その間約1時間	左母指、MP関節粉碎骨折・開放骨折	1
23	4	愛媛県	1	78	2002	10	15	田	水稻	米の収穫作業が終わり、コンバインの点検作業を行っていた際にゴミを排出する部分にもみが詰まっていたため、エンジンをかけたまま、ただしクラッチは切って、籾排出口に手を入れ籾を取り除こうとして、手を入れたら、スロアーが回転しており、指を切断した。	「クラッチを切った」との事であるが、走行クラッチのみ切って、脱穀部のクラッチを切っていないかった可能性がある。	・操作手順の教育の徹底が必要	救急車で搬送。詳細は不明。指を切断、接合は出来なかったのか？	左手中指と薬指の切断	1

2. コンバイン

連続 NO	機種 NO	地区 名	性別	年齢	受傷年月等			発生 場所	農業 種類	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 1 通院 2 死亡 3 通院せず 4 不明 -
					年	月	時								
24	5	佐賀県	1	59	2010	9	9	田	水稻	秋作業前に、業者に点検のためコンバインをオーバーホールをしてもらった。3条のコンバインで稲刈りを始めたところ、籾がタンクに貯まる音がしなかったので、籾の搬送部の蓋からもれているのかと思い、確認のため降りて腹底の籾搬送部に手で確認したところ、搬送部のカバーがされてなく、左手を入れたところ、らせん部分で指先を切った。業者が点検した際、蓋をはずしたままにしていた。蓋は納屋の隅に立てかけてあった	脱穀クラッチを切らずに、らせん部に手を入れた、またオーバーホール時の業者が、整備不良であった	詰まりや、らせん部の点検時は、エンジンを切る、脱穀部クラッチを切る また、他人に整備や修理を依頼したとき、受け渡し時に修理点検箇所を確認をする	携帯電話で直接救急車を呼んだ。迷ったようだが携帯電話で誘導した。動脈は切れていなかった。RH-の血液型であり、幸い輸血を必要としない手術であった	左手指4本裂傷	1
25	6	栃木県	1	41	2010	10	10:00	田の畦	水稻	稲刈り時、タンクが満杯になった籾を排出しようとしてコンバインを隣の田に移動中、畦を左斜めに進入した時、右側に横転した。運転者は飛び降りた。	コンバインを移動するとき、畦を斜めに進入した。	他の田へ移動するときには、出入り口を使用し直角に走行する。	—	—	—
26	7	富山県	1	58	2006	8	16	農道	水稻	コンバイン乗車中に直進走行していて、進入路に入るため、大回りをして回転しようとしたら、コンバインが路肩からずれて横転し、そのはずみで乗車中の者が放り出され、田んぼへ転落	コンバインは大型化したが、道路幅は、昔のままであり、ギリギリであり、機械と環境のミスマッチ	新規に入った機械について、死角の確認や、目線で、キャタピラの幅の確認等が必要	自分ですぐに医療機関へ	手関節骨折	2
27	8	滋賀県	1	72	1980	9	11	圃場	水稻	その年に購入した2条コンバインで、圃場隅によるため、誘導者の合図に従い、ギリギリまでバックしていて、以前に崩れた畦の所で、畦・路肩が崩れ、前方が浮き上がり、コンバインはそのまま仰向けとなり、2m下の川の縁に転落した。人は転落寸前で飛び降りた。	・手刈り部分をなるべく減らしたく、なれない機械で、ギリギリバックしたためさ ・圃場の条件を十分把握していなかった	・作業現場の事前確認 ・新しい機械の場合、経験に頼らず、常に確認	なし	なし	4
28	9	新潟県	1	74	2010	10	15:00	田畑の進入路	畑作	汎用コンバインでソバを刈っていた。下の水田のソバを刈り取り、上の水田に移動する時、進入路の手前で高さ2.6mの所からコンバインとともに転落し死亡した。	道路斜面が草刈りされており、進入路と勘違いし、転倒した。	山間地には不向きな大型なコンバイン。もう少し小さなコンバインはないか	集落から5分ぐらい離れたところで携帯電話通じず、下りて救急車を呼んだ。来るのに長く感じた	胸圧迫（死亡）	3

2. コンバイン

連続 NO	機種 NO	地区 名	性別	年齢	受傷年月等			発生 場所	農業 種類	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 1 通院 2 死亡 3 通院せず 4 不明 -
					年	月	時								
29	10	滋賀県	1	40	2000	9	17	道路	水稻	トラックにかけた歩み板をコンバインで上がっている途中で、歩み板が外れてコンバインが傾き、コンバインは傾いたまま、トラックに引っかかっていたが、運転者は、投げ出された	歩み板の爪が頻回につかったため、摩耗しており、重量のあるコンバインの荷重で、外れた	・リモコン操作で、歩み板の出る搬送用トラックを購入 ・歩み板は全国で使われているが、このトラックに引っかける部分の強度が、必ずしも十分ではないと考えられ、摩耗や荷重等の開発試験を行い、使用の安全基準（耐用年数、荷重、メンテナンスなど）を作成する事が必要		軽い打撲程度で、治療なし	4
30	11	愛媛県	1	71	2011	10	8	倉庫前	水稻	法人倉庫にて稲刈りをする為、コンバインを運搬車を載せ、コンバインから降車中、コンバインと運搬車の車体幅がほとんど同じで、ステップに足がかかりにくい構造で、足がかからず、踏み外したようにして、後方下へ転倒し、仰向けに転倒、後頭部を隣地境界コンクリート畦畔に打ち付けて頭部を強打。	コンバインと運搬車の車幅が同じ1.8mであり、降車時の足を安定的に確保することが困難	運搬車の横に、踏み台や脚立を置く等の工夫が必要	コンクリート畦畔に頭を打ち脳震盪。同僚が救急車を呼んだ。CT検査で脳に水がたまっていることが分かり転院	頭部外傷（脳震盪及び脳内部に水がたまっていた）⇒水頭症	1
31	12	佐賀県	1	64	2008	11	15	田	畑作	大豆コンバインに手刈りした大豆を投げ込む作業中に、刃先に指先が当たった	手刈りの大豆を手で投げ込んでした	手刈りの大豆は、まだ刈り取っていない、大豆の上にはばらまいて置くだけで収穫できる、ここでは、まだ刈っていない大豆に立てかけるようにルールをアラタに決めた	一緒に作業したオペレーターは受傷者の怪我に気づかず、1周。オペレーターの軽トラで病院へ。切断した指を探してくるよう指示を受け、接合。日常生活には支障なし。	指骨切断（左手中指第一関節）	2

2. コンバイン

連続 NO	機種 NO	地区 名	性別	年齢	受傷年月等			発生 場所	農業 種類	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 1 通院 2 死亡 3 通院せず 4 不明 -
					年	月	時								
32	13	佐賀県	1	53	2009	11	12	田	畑作	大豆コンバインで刈取作業中に、刃に土の塊が挟まったのが見えたので、それを取り除くため、走行クラッチを切り、リールを上げ、リールの下に潜り込んで土を払いのけた途端、リールと刈刃が動きだし、左肩からリールに巻き込まれ、また刈刃に指がふれ、死にものぐるいで脱出した。	走行クラッチを切っても、脱穀クラッチが切っておらず、詰まったものを取り除いた途端、動きだした	走行クラッチのみならず、詰まったらエンジンを切る	手伝いの人が携帯で救急車を呼んだ。場所が干拓地で目印もなく、気が動転して場所がうまく伝わらなかった。自分の携帯は怪我で使えなかった。整形外科病院から手術・麻酔が必要になり、総合病院に転院	左肩関節脱臼骨折 右手人指し指裂傷	1
33	14	新潟県	1	61	2011	9	11:50	圃場	水稻	手刈りをした稲をコンバインの脱穀部分を差し込んでいた時、稲ワラと一緒に左手が巻き込まれた。	手刈りの稲を脱穀部に入れて巻き込まれた。	緊急ストップボタン。	痛みが強いたので事故翌日受診。縫合手術が必要といわれたが、麻酔で失神。手術断念、薬で治療、長引く。	左手人差し指損傷	2
34	15	愛媛県	1	68	2010	10	8	倉庫	水稻	機械倉庫の前で、コンバインの刈刃に潤滑油を注いでいた時、油を完全正常に延ばすため、エンジンを停止せずに、低速の状態で刈取・引き起こしチェーンを回していたため、引き起こしの爪が右手首の上部をえぐり負傷した。	注油口が小さく、横から稲の掻き上げチェーンに注油していた	現在、自動注油のものも普及しているが、掻き上げ部への注油は、必ずしも十分ではない。掻き上げ部のカバーが簡易に着脱できる構造であれば、注油も容易となる	自車で病院受診	右手首えぐる傷（3cm程度の傷）	2
35	16	佐賀県	1	54	2004	10	14	田	水稻	稲刈り作業中、コンバインがオーバーヒートしたためラジエーターの蓋を開け冷却水を入れようとしたところ、冷却水が噴出し左手にかかった。機械は古く、常にオーバーヒートしており、対処手順はいつもの通り行ったつもり	オーバーヒートを起こしたので、作業の遅れが生じる事を恐れ、急いでいた	コンバインを買い換えた	家族に連絡、自車にて10分ほどで診療所で受診	左手火傷	2

2. コンバイン

連続 NO	機種 NO	地区 名	性別	年齢	受傷年月等			発生 場所	農業 種類	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 1 通院 2 死亡 3 通院せず 4 不明 -
					年	月	時								
36	17	愛媛県	1	72	2011	12	10	田	畑作	生産組合が管理している水田において、大豆コンバインで大豆の刈り取り作業中、ゴミがつまったためコンバインから降りる際、上から二段目のステップ（地上から47cmの高さ）で履いていた長靴が前日からの雨で濡れており、足を滑らしステップで右足を強打し負傷した。	圃場が前日の雨でぬかるんでいて、長靴がぬれて、かつ泥が付着していて滑り易かった	安全靴のような強固なものではなくていいから、靴底のもっと凹凸があり、滑らない作業靴の開発が必要。工事現場用は、基本的に水平面を想定しているが、農作業現場、ぬかるんだり、滑り易いところが、基本的な現場	様子をみていたが痛みが引けないために事故3日後に受診、即入院	右脛の剥離骨折	1
37	18	兵庫県	1	58	1977	9	11	田	水稻	コンバインカッターの蓋をエンジンをかけたまま明け、鎌で詰まった藁を取り除いて、手がカッターに巻き込まれた	エンジンを止めずに、詰まったワラを取り除こうとした。また雨が気になり焦っていた	詰まったら、エンジンを止めて詰まりを除く	心臓の脈動に合わせて鮮血が1m飛んだ。大声に気づいて若い人が来てくれた。押さえて止血。病院まで体力を消耗しないように寝ていた。軽トラで搬送	右手首切断	1

3. トラクター

連続 NO	機種 NO	地区 名	性別	年齢	受傷年月等			発生 場所	農業 種類	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 1 通院 2 死亡 3 通院せず 4 不明 -
					年	月	時								
38	1	長野 県	1	54	2 0 1 0	12	1 5	土手	水稻	乗用トラクターで転作田を移動中、土手を上ろうとしてトラクターに乗ったまま左下の川に真っ逆さまに転落	12月の午後で仕事の忙しさから焦っていた。	機械の基本的な操作講習受講の義務化	自ら軽トラックで自宅に戻り、母親の車で病院搬送	左足示指・中指・薬指中足骨骨折	1
39	2	新潟 県	1	57	2 0 1 0	4	1 0 : 3 0	農道	水稻	トラクターに乗車中、片手運転をしており、用水にトラクターとともに転落した。	左手にロープを持ってトラクターを運転した。水路に転落	基本的な安全意識の欠如	自力で這い上がり救助を求めた。通りがかりの人が自宅に戻り電話で救急車要請、処置対応ができないと他の病院に転送	右手中指挫傷・腰骨盤骨折・右大腿骨ヒビ	1. 2
40	3	滋賀 県	1	84	1 9 8 8	4	1 8	農道	水稻	トラクターで急坂を尾輪を下ろさず、ブレーキペダルを左右連結せずに上がっていたとき、前部が浮いて、3m下に転落	約11度の斜度、道幅1mでトラクター走行にかなり困難な場所を、ロータリーの尾輪をいつもは下ろしているのに、下ろしていなかった。集落の会合が予定されていて、考え事をしていて、また、ブレーキの連結ロックもしていなかった	・傾斜地である角度以上になったらブレーキの連結ロックがかかっていたいなかったら、警報がなる装置の開発を ・農道を自分で拡張した	職場の近くのよく知っている医院まで1時間半かけて入った。	右上腕骨遠位部の亀裂骨折 右腕に大量の皮下血腫	2
41	4	滋賀 県	1	76	2 0 0 1	4	1 1	圃場 出入口	水稻	圃場の出入口を斜度16°をギアをM2に入れてすぐ横の圃場に移るため、トラクターで上っていたときに、ハンドルを切り、ブレーキペダルを踏んだときに、おそらく連結ロックをしておらずトラクターが半回転して、右側の圃場にトラクターごと転落し、足がトラクターのタイヤの下敷きになった。	・ブレーキの連結ロックをしていない	・圃場を上がる前にどんな短い距離であっても圃場を出る前にブレーキの連結ロックをする ・傾斜地では、スピードを落とす		軽度の打撲、医療機関に行かず	

3. トラクター

連続 NO	機種 NO	地区 名	性 別	年 齢	受傷年月等			発生 場所	農業 種類	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 1 通院 2 死亡 3 通院せず 4 不明 -
					年	月	時								
42	5	北海道	1	59	2010	5	11:00	水田	水稻	クローラー（キャタピラ）トラクターにハローを付けて、代掻き開始前に、均平板を下ろしていないことに気づき、均平板昇降レバーを下ろすため、キャビンから出て、クローラーを伝って、トラクター後部に移動し、右足をハローに乗せた時、水田長靴が滑り、転倒	トラクターのクローラーの上を移動中、滑って転倒	レバーなどの操作をするときには、トラクターから降りて作業することの徹底。	事故後翌日自ら運転受診、X線撮影	右胸部打撲、肋骨ヒビ	2
43	6	北海道	1	47	2010	11	9:00	水田	水稻	クローラー（キャタピラ）トラクターにサブソイラを装着して芯土破碎作業を行う際に、トップリンクの長さを変えて深耕調整するため、トラクターから前向きに降りようとした時、右足をクローラーに乗せて体重をかけた瞬間、滑って右手を凍結した地面についた	トラクターから前向きに降りるとき滑った。地面が凍結していた。	大柄な体型で後ろ向きに降りられなかった。地面が凍結していた。クローラに乗ってしまいやすい構造にある。	すぐに奥さんの車で病院へ搬送受診。金属接合プレート接合手術	右手首骨折	1
44	7	長野県	1	61	2010	11	11	田	水稻	乗用トラクターから降りる際、運転席のステップが狭く、濡れていたこともあり滑って落ちた。	旧式のトラクターは運転席の足回りが狭く、乗降が困難。	旧式のトラクターの改善	仲間の車で病院受診。知識不足で共済保険活用せず。	左半月板損傷	2
45	8	新潟県	1	74	2011	5	10:30	圃場	水稻	タイヤの補助車輪の上に乗って、運転席に移動した際に足が滑った。地面に落下する際に手がレバーに当たり、レバーが前進に入ってしまった。その為、車輪に轢かれた。	エンジンを止めずにロータリーの刃の点検をし、補助車輪の上を移動した。	ロータリー刃の事前点検。エンジンの停止。	あまりの痛さに声が出なかったので手を上げたら仲間が気づいてくれ、救急車を呼んでくれた	肋骨骨折・靱帯損傷・アゴ骨折	1.2
46	9	長野県	1	58	2011	5	12	水田 道路	水稻	代かきを終えて乗用トラクターから降りて作業中、突然トラクターが動き出したので、止めようと飛び乗ったが、危ないと判断し、飛び降りたとき受傷	トラクターのサイドブレーキがしっかり掛けてなかった。	借用機械であり、サイドブレーキの位置が自分のものと違う。統一が必要。	昼頃の事故、夕方になって痛み、病院受診	右肩打撲	2
47	10	新潟県	1	55	2010	10	8:00	圃場の乗り入れ口	水稻	トラクターで代かき作業を終了し、トラクターの圃場から乗り入れ口に出し、車輪の補助のツメを収納していた時、トラクターが動き出し車輪に轢かれた。	傾斜場に止めたトラクターが動き出したので、止めようとして轢かれた。	停車の時はサイドブレーキを徹底する。	生産組合の消防職員が病院へ通報。自車で受診、翌日再診、入院	左肋骨4本ヒビ	1.2

3. トラクター

連続 NO	機種 NO	地区 名	性別	年齢	受傷年月等			発生 場所	農業 種類	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 1 通院 2 死亡 3 通院せず 4 不明 -
					年	月	時								
48	11	富山県	1	70	2007	5		車庫	畑作	トラクターの作業機取替時に、アタッチメントの畝立て機のピンを外したところ、アタッチメントのパネの力で跳ね、顔面強打	アタッチメントの取り外しの方法について、熟知しておらず、ピンを外したとき、パネで跳ねると思っていなかった	作業機取り替えについて、十分な研修が必要、機械的にも、ピン一つ外して、跳ね上がる構造ではなく、ゆっくり外れ、上がってくる構造へ	数日間、我慢、青あざがひどくなって受診	顔面打撲	2
49	12	富山県	1	47	2006	5	15	前庭	水稻	トラクターのドライブハローからロータリー作業機に取替えて尾輪をセットし、ピンを止めずにロータリーカバーを上下に動かし深耕のロッドのセットを確認したところ、尾輪が落下し、右足指部の薬指に落ち、3日間我慢したが痛みがとれず、接骨院へ行った	尾輪は、錆などで落ちない時もあり、一時的に支えられて抜けて来なかったが、作業中の振動などで落下した。	作業機取り替えについての十分な研修が必要	自分で受診	足部打撲	2
50	13	北海道	1	70	2010	7	14:00	牧草地	酪農・牧畜	500m×500mの牧草の刈り取りの際、まっすぐに刈り進むため、牧草地の500m先の木に目印の袋が牧草地のアップダウンのため、見えなかったため、運転席からトラクターのボンネットに上り確認しようとして、ボンネットに乗り損なって、転落、背部を打撲	トラクターのボンネットに上ろうとした。落下。	高齢者の体力の低下などを本人に自覚してもらう検査方法の確立が必要。	持病の薬の影響もあり、内出血が酷く、入院が必要になった	背部打撲	1
51	14	千葉県	1	54	2003	9	7	畑と道路の間	畑作	白菜のマルチがけをし、終了してトラクターを道路に上げてマルチを切っていたところ、トラクターが自然にバックしてきて、回転していたロータリーに下半身を巻き込まれた	トラクターのサイドブレーキを掛けなかった。ロータリーの回転を止めなかった。道路がわずかに傾斜していたのと、道路端が長年の間に崩落していた	降りて作業するときには、エンジンを停止する基本を徹底する。	近くのハウスにいた人が気づき大腿部止血、救急車要請、ドクターヘリ搬送	右大腿骨、4カ所開放骨折	1
52	15	福岡県	1	80	11	8	11	自宅横格納庫前	管理	土の運搬作業を行うため、自宅横の格納庫の前で、トラクターにフロントローダーの取り付けをしていたところ、フロントローダーの油圧シリンダーが急に伸び、トラクターキャビンのフロントガラスに取り付け部が接触し破損。その際、破損ガラスが長靴に入り両足に受傷（切り傷）	借りた機械であり、レバーがローダーが最も上に上がるようにセットされていた	他から借りた機械は、常にコミュニケー-		切り傷	-

4. 耕耘機

連続 NO	機種 NO	地区 名	性別	年齢	受傷年月等			発生 場所	農業 種類	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 1 通院 2 死亡 3 通院せず 4 不明 -
					年	月	時								
53	1	長野県	1	69	2011	6	16	畑	畑作	マメトラで作業中、畑の土が硬かったので、バックをするときキックバックを起こし転倒し、受傷した。	ロータリーの刃が逆回転する管理機のため、キックバックした。	耕耘機のバック時の事故が最も多い。ロータリーの回転方向の改善が必要。	翌日、自分の車で受診	左足関節打撲	2
54	2	愛媛県	1	59	2007	9	12	畑	畑作	自宅近くの畑で、小型耕耘機で作業中バックに入れて下がったところ、畑の境目（後は崖で、その下は川）で、ハンドルを持ち上がり、境界をのり越えて、押されて、4m下の川へ転落し全身強打。幸い頭は、砂地に落ち衝撃は少なかった。また、本人が転落した後に、耕耘機も落下してきたが、わずか60cm離れた場所に落ちた。	耕耘機作業におけるバックでのハンドルの持ち上がりによる。また、畝は川の方角に直角に作られており、バックするとそのまま、転落する可能性があった	耕耘機作業は、バック注意、事故後畑の畝は、川と平行に作り替えた	携帯電話で妻に連絡。妻が救急車を要請。レスキュー隊が来て救出	肩甲骨・腰椎骨折、右肩腱板不全断裂、恥骨りかい	1
55	3	佐賀県	1	58	2010	11	16	田	畑作	歩行型カルチで玉葱苗床の畝作りをしていて、方向転換して畑の端で畦を背にして、機械のギアを後進から前進に切り替えたつもりだったが、なぜかバックし、畦と機械の間に挟み込まれ、ロータリーにズボンと共に足が巻き込まれた。	ギアが逆に入った	耕耘機は、前進であれ後進であれ、常に後方に余裕を	携帯で親類を呼び5分で駆けつけ、救急車を呼んでくれて10分後に到着、20分ほど離れた県立病院に搬送	下肢（ふくらはぎ）負傷	1
56	4	新潟県	1	62	1996	3	11:30	野菜ハウス	畑作	土壌が硬く、耕耘機の刃が土に入り込まなかった為、ロータリー部分が跳ね上がり、ハンドルが浮き上がった。そのため、耕耘機の刃に左ヒザより下が巻き込まれた。	ロータリーがタイヤより手前にあり、巻き込まれた。	半回転すれば、ロータリーが前になる機種であった。状況判断で適切な使用が重要。	近所の人が病院に搬送してくれた。ロータリーの刃を抜いて病院に行った。付けたままいけばよかった。	左足裂傷	2
57	5	新潟県	1	45	2007	4	11:30	畑	畑作	土壌が硬くなっており、耕耘機が土壌を打てず前にダッシングしてしまった。慌てて止めようとしたところ足が滑ってロータリーに巻き込まれた。	ロータリーがタイヤより手前にあり、巻き込まれた。	ロータリーがタイヤの前にあるように改善。	父親に刃を抜いてもらい、家族に病院へ送ってもらった。土曜日だったが整形外科医がいた。ロータリーの刃を抜いて病院に行った。「付けたままくるように」といわれた。	左足脛骨折	1.2

4. 耕耘機

連続 NO	機種 NO	地区 名	性別	年齢	受傷年月等			発生 場所	農業 種類	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 1 通院 2 死亡 3 通院せず 4 不明 ー
					年	月	時								
58	6	長野県	1	80	2011	6	10	自宅庭	畑作	畑に持って行こうと軽トラックに簡易の管理機を手で持ち上げて乗せようとして、腰を痛めた。	栈橋を使わずに自力で持ち上げた。	25kg以上の重量物運搬の注意喚起	3日間自宅休養、その後リハビリ通院、その後8日間入院	腰椎椎間板ヘルニア	1
59	7	長野県	1	84	2010	10	11	自宅庭	畑作	トラックから耕耘機を降ろす際、機械と一緒に転落	降ろすときニュートラルになっていたので、惰性で落下。	基本操作の講習受講が重要	息子が病院搬送、すぐに高次医療機関に転送	左橈骨遠位端骨折・顔面挫滅創	2
60	8	長野県	1	83	2011	3	12	畑	畑作	管理機で畑を耕していて、回転しようとしたが、ハンドルが高く操作しづらく指を捻る	機械のハンドルが高く操作がしづらかった。	機械の操作がしやすいようにハンドルの高さの調整が簡単にできるように設計	自ら運転して整骨院で電気治療	左手親指捻挫	2
61	9	長野県	2	78	2011	7	10	畑	畑作	自宅前のハウスで管理機で耕耘中、惰性で動き出した管理機を止めようとして、引きずられ管理機の上に倒れた。	惰性で動き出した管理機を止めようとして追いかけた。タイヤ幅が狭く、容易に転倒した。	管理機のタイヤ回転停止のレバーの設置	娘に近隣の病院へ搬送してもらい、紹介で他の病院でMRI・手術せず保存療法	右脛骨近位端骨折	1
62	10	兵庫県	1	54	1977	9	16	疎水 休閑地	果樹	ぶとう園隣の休閑地を耕耘中、雑草の中に有刺鉄線が隠れており、耕耘機の有刺鉄線がロータリーに絡まって巻き込み、その有刺鉄線に乗ったまま、ロータリーに巻き込まれた。	・現場の事前確認をしていなかった	・新しい土地、久しぶりに作業する土地では、現場確認が必須	一瞬の出来事に気を失った。近くにグループの人が多くいて通報。救急車と工作車がすぐにかけた。ロータリーと機械を溶接機で切り離し、刃を脚につけたまま、搬送、大出血に至らなかった	右足下肢切断	1

5. 動散・動噴

連続 NO	機種 NO	地区 名	性別	年齢	受傷年月等			発生 場所	農業 種類	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 1 通院 2 死亡 3 通院せず 4 不明 -
					年	月	時								
63	1	富山県	1	61	2011	6	9	畦	水稻	動散で、追肥を散布中、畦を踏み外し田へ横転	畦塗りの後、畦が傾斜しており、足場が不安定、また、その年の初めての動散担ぎで体力が少し落ちていた、ホースが長年使っていて、固定できず、柔らかくなっている、散布中常に、集中できなかった。年齢と共に、足が少し縮小し、長靴が緩く、踏ん張りが十分にきかなかった	・ホースを新調した ・長靴をサイズが小さく、フットするものに新調した ・畦の上を均して平滑にする必要がある	数日間、我慢、痛みが引かないので接骨院を受診	右足第4、5趾リファン関節捻挫	2
64	2	富山県	1	72	2006	4	6	畦	水稻	除草剤2袋・約8kgを入れた農業用動散をかつぎ上げようとして、腰がぎくつときた、圧迫骨折であった	・乳製品はあまり取らず、骨粗鬆症の可能性があり、少々重量物を持ち上げるだけで、骨折を引き起こした ・地面に動散を置いて、一気に担ぎ上げようとした	・軽トラなどの荷台で担ぎ上げるなど、腰に負荷のかからない体制での作業に	用水沿い、生け垣沿いを何とか移動して、一緒に作業をしていた奥さんに病院に搬送してもらう	第4腰椎圧迫骨折	1
65	3	富山県	1	60	2009	5	10	畦	水稻	動力散布機をかついで作業中、あぜで転倒	・畦は、区画整理後年数が経っており、傾斜しており、何も担がず歩いても、歩行が困難な状態 ・本人は、動散担ぎが初めてで経験も少なかった	区画整理後、年数の経った畦や道路の改修が必要	相方がいたので、すぐに交替、自車にて受診、X線撮影、骨に異常なし	下肢（左）打撲	2

5. 動散・動噴

連続 NO	機種 NO	地区 名	性別	年齢	受傷年月等			発生 場所	農業 種類	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 1 通院 2 死亡 3 通院せず 4 不明 -
					年	月	時								
66	4	愛媛県	1	41	2011	5	10	施設 周辺	畑作	苺ハウスの周辺を背負い式動力噴霧器を使用し後ろ向きに除草剤を散布中、作業中に雨でぬかるんだ土に足を取られて転倒した。本人の体重、96kg、薬液は5.6L残っており総重量100kgを超えていた。	除草剤を散布していた場所は、幅45cmと狭く、かつバックで作業、かつぬかるんでいて足を取られた。	地形を事前に確認が必要	病院に行き手術	左腕骨折	1
67	5	愛媛県	1	63	2006	8	10	樹園地	果樹	柑橘園地を背負い式動力噴霧器を使用し除草剤散布中、足下の石垣が崩れバランスをくずして転倒した。	以前に整備された石垣や構造物が、年月と共に風化、崩れ易くなっていた	石垣の専門家による修復が必要、しかし、現実には、費用の面から、所有者が素人的に修復したり、未修復の箇所が多数あり、行政等の援助が必要	事故が土曜日だったので安静にしていた。月曜日に受診、入院	右足複雑骨折	1
68	6	愛媛県	1	81	2011	8	11	樹園地	果樹	自宅横の柑橘園地において、背負い式動力噴霧器を使って除草剤の散布作業中、背負い式動力噴霧器がみかんの枝に引っかかりバランスを崩し、1.8m下の段に落下した。	樹の横の道幅がわずか50cmで、その下が崖で狭い所での作業、また背負うと後に意識が行かず、小枝に噴霧器が引っかった	道幅の確保、背負い式の農機具の背面と他の物との距離を知らせる何らかの工夫ができなにか	痛みをこらえ、200m離れた自宅に自力で戻り、近所の人に救急車を呼んでもらった	腎臓を損傷し摘出。腰骨骨折	1

6. チェーンソー

連続 NO	機種 NO	地区 名	性別	年齢	受傷年月等			発生 場所	農業 種類	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 1 通院 2 死亡 3 通院せず 4 不明 -
					年	月	時								
69	1	長野県	1	50	2011	11	11	土手	畑作	畑の土手の木をチェーンソーで切っていたら、一気に木が倒れてきて頭に当たり受傷した。	蔓で絡まっていたために、一気に大量の木が倒れた。	ヘルメットの着用の義務化。	近くに居た父親の車で病院搬送	頭部裂傷	2
70	2	長野県	1	72	2011	5	10	山林	山林	山林の下草刈りと間伐を兼ねて、チェーンソーで木を切ろうとして、誤って左膝に刃が触れ、受傷した。	勢いをつけるためにチェーンソーを空ふかした。足を滑らせた。	チェーンソーは木を切るところで操作開始する。	自車で帰宅。自車で受診。GWでも治療。	左膝切創	2
71	3	富山県	2	72	2010	1	13:30	山林	管理	自宅裏山にて崖淵の急傾斜の所の樺の木をチェーンソーで切っている際に、切った木が足下にぐらっと転がり、体を崖下に押し出すように寄るかかってきて、踏ん張り切れず足を滑らせ8m程下に転落した。落ちる際に、自ら足を蹴って、飛び降りるような形で落ちたので、頭から落ちなかった。真下はコンクリートであったが、飛んだため、先に落としておいた木の枝や葉の塊の上に落ち、クッションとなった	昔、チェーンソーを使った事もあり、危ないとは思いつつ、特に対策を取らなかった。昔は山作業の時は、いのち綱など安全対策をしていたが、林の管理は兼業であり、プロ的意識で作業に望んでいなかった	命綱を着ける	妻が見ていたので、救急車を呼んでもらった。医療圏の関係で最初、圏内の総合病院へ行ったが、治療が難しい、との事で別の圏内の総合病院に問合せ、忙しいとの事で、別の医療圏の総合病院へ。事故後2時間半後。	左骨盤, 左恥骨, 左坐骨, 左腸骨骨折, 左外傷性血胸	1
72	4	滋賀県	1	76	2010	1		山の斜面	山林	チェーンソーで急斜面の山林で間伐作業をしていたところ、滑って転倒して2回転して尻餅をついたまま40～50m下の谷底に滑落し、落ちたとき右眼を石にぶつけた。	・転落防止用のロープをせず、かつヘルメットを着用せず、かつスパイクも短めであり滑りやすかった	・安全装備の徹底		右眼硝子体損傷	1
73	5	愛媛県	1	32	2011	4	9	樹園地	果樹	樹園地において、改植をするためサンプル15年生をチェーンソーで伐採していた際、長さ51cmの小さいチェーンソーだったので、片手で持ち、もう片方の手で枝を持って枝を細かくしていた。スロットルレバーから指を離したので、回転が止まっていたと思っていたら、依然として回転していて、チェーンソーで指を負傷した。	ハンディタイプのチェーンソーを片手で持って、さらにスロットルを離せば回転が止まると思いこんでいた	チェーンソーは片手で持たない、基本的使い方の研修を	事故後、電話で近くの病院に連絡したらチェーンソーの怪我は対応困難といわれ、同僚に60分かかる遠くの病院に連れて行ってもらった	右手切創（小指）12針縫う	2

7. 田植機

連続 NO	機種 NO	地区 名	性別	年齢	受傷年月等			発生 場所	農業 種類	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 1 通院 2 死亡 3 通院せず 4 不明 -
					年	月	時								
74	1	新潟県	1	50	2 0 0 9	5	1 0 : 0 0	農道	水稻	田植機に給油作業を行おうとしたが、田植機の足場から足を踏み外し、田植機の下にお尻から落下し、腿の上に満タンの給油タンクが落ち負傷した。	給油しようとして田植機から落下。	田植機には給油するタンクの置き場がない。小分けなどの給油方法の検討が必要。	内出血が酷かったが病院には行かなかった。治療すべきだったと反省	右足太もも打撲（医者に行かなかった）	4
75	2	富山県	1	22	2 0 0 8	5	2 0 : 3 0	修理工場	水稻	田植機の修理作業中カバーを取り付けようとした時、機械とカバーの間に指を挟む	2人作業で行っており、相方が、こちらの作業状況を確認せずにカバーかけた	2人作業の場合、常に声かけ等、コミュニケーションを取る	自転車にて受診	手指はさまり	2
76	3	滋賀県	1	76	2 0 0 4	5	1 1	農道	管理	急で道幅1.4mと狭く、斜度18度の農道を田植機で上り、たまたま、道路の崖側を補強のため敷いていた木の板（降雨で濡れていた）に乗り上げ、前輪が横すべりして脱輪し、田植え機ごと1mくらい転落、本人は小川に転落、田植機が上から降ってきたが、小川に橋渡しになるように止まったため、重大な傷害を受けず。妻は前輪が浮き上がらないように、田植機全部に重し代わりに乗っていたが、転落直前に空き地に飛び降り、ケガせず。	・棚田地帯の狭隘な道路、きつい斜度 ・しっかりした構造物ではない板で、道路を補強したつもりであった	・事故後、法面を少し削って道幅を広げた		軽度の打撲、医療機関に行かず	4
77	4	滋賀県	1	76	2 0 1 0	5		道路	水稻	自宅の車庫前の斜度16度の下り坂を走行中、田植え機のギアが突然抜けニュートラル状態となり、惰性で走り、ブレーキを掛けたが効かず、さらに10度の下り坂を下り、道路脇の空きスペースにとにかく突っ込んで停車した。途中、横脇からトラックが出てきたが、異変に気づき、バックしてくれて、衝突を免れた。	・田植機のギアが抜けた	・田植機のタイヤは、鉄車輪に護謨をはった程度であり、道路の形状によっては、振動を伝えやすく、ギアなどに振動が伝わり、ギアが抜ける事がある。ギアの構造について改良も検討する必要がある。		なし	-
78	5	滋賀県	1	61	2 0 1 0	5	1 2	道路	水稻	軽トラックから乗用型の4条の田植え機を降ろしているときに、歩み板から前輪が脱輪して落ちかけた。周囲にいた人が前輪が外れそうになるのをたまたま気がついてくれ、大声で「落ちるぞ」と叫んでくれたので、ハンドルを修正して降りたので、大事には至らなかった	一人でトラックに農業機械を積み降ろし作業をしており、車幅と歩み板の設置の適正な位置を十分確認せずに、田植機を降ろそうとした	・農業機械の積み降ろしは、小型・大型問わず、確認作業が必要 ・スケールを手元にもっていて、歩み板が、車輪のセンターにきているかの確認をする		なし	-

8. 軽トラック

連続 NO	機種 NO	地区 名	性別	年齢	受傷年月等			発生 場所	農業 種類	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 1 通院 2 死亡 3 通院せず 4 不明 -
					年	月	時								
79	1	滋賀県	1	76	2011	5		農道	畑作	傾斜18度の場所で軽トラックを下り坂の方向に、ギアをニュートラルに入れたまま、サイドレーキのみで駐車。駐車後、軽トラの後の獣害防止のゲートを閉めていたら、強い風が吹いてきて、かつ砂利道の路面も雨で濡れていたためか、軽トラが無人のまま、下りだし、滑落	・ギアをバックに入れておらずニュートラルで坂道駐車をしていた、車止めをしていなかった。	坂道駐車の基本を守る、急坂では、坂に対して直角駐車、または車止めを使う		なし	4
80	2	滋賀県	1	60代	2009	9		農道	水稻	傾斜12°の強い未舗装の農道を軽トラックでバックで下りてきて、カーブのところでスリップして小川（1～2m下）に転落しかけた。	安全確認を十分せず に一気にバックで迂ろうとした	・狭隘な道でのバックは小刻み、または、降りての安全確認、 ・道はその後拡幅された		なし	-
81	3	佐賀県	1	69	2009	6	12	カントリー	水稻	カントリーでのフレコンをコンテナに移す作業で、軽トラの上で、フォークリフトの爪にフレコンのヒモをかけていた。作業が終わり、降りようとした時、相方が軽トラを発進させ、後頭部からアスファルトの地面に転倒。	相方が、まだ作業者が乗っているとは思わなかった	コミュニケーションの徹底 以後、作業手順マニュアルを改変		後頭部打撲	1
82	4	佐賀県	1	64	2011	9	15	市道	管理	畑の草刈をするため、三叉路で知人がいるのに気がつき、意識がそちらに行き、道幅13.8mの路肩に軽トラックを駐車しようとしハンドルを左に切り、直後に1.5m下のはたけに転落	余裕がある道であったが、知人に気が取られ、ハンドル操作を間違えた	運転中は、運転に集中	事故数日後、指の痛みが酷くなり自車で病院受診	右手中指挫傷	2

9. トラック・ダンプ

連続 NO	機種 NO	地区 名	性別	年齢	受傷年月等			発生 場所	農業 種類	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 1 通院 2 死亡 3 通院せず 4 不明 -
					年	月	時								
83	1	長野県	1	48	2010	2	14	精米所前	水稻	トラックの荷台にコンパネを立て、もみ殻を積み込み覆いをしようとして190cm上から落ちた。	足場の悪い危険な位置から落下	1m以上の作業にはヘルメットの着用が必須条件	事故2日後、自車で受診	左橈骨骨折	2
84	2	新潟県	1	69	2011	4	11:00	作業所前	畑作	2tダンプに堆肥運搬の搭載ダンプベッセルを乗せる為、ダンプのアオリを外そうとしたが、フックが硬くアオリが開かず、バールを使ってフックを外そうとした時、バールを支えていた「テコの木」が外れて、その反動でバールが右肩を強打した。	ダンプのフックが硬く、バールを用いて外そうとして負傷	ダンプのアオリフックの点検が必要	自宅で湿布の応急処置、翌日受診、4回通院するも回復せず、他県の病院に入院	右肩腱板損傷	1. 2
85	3	新潟県	1	58	2011	9	9:15	倉庫	水稻	ダンプのアオリを下げようとした時、アオリがダンプの荷台より外れて、左足に落下した。	ダンプのアオリが外れた	借用のダンプの時は十分な点検が必要	事故翌日に受診。骨折のため他の病院に転送	左足小指骨折	2

10. フォークリフト

連続 NO	機種 NO	地区 名	性別	年齢	受傷年月等			発生 場所	農業 種類	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 1 通院 2 死亡 3 通院せず 4 不明 -
					年	月	時								
87	1	新潟県	1	57	2011	8	12:00	格納庫	水稻	フォークリフトを上げた時、右手に掴まっていたバックレストが上がり、固定されているマストとの間に薬指を挟まれた。	乗って作業してはいけないフォークリフト上での挟まれ事故	安定性からすると、はしごより使いやすい。安全に考慮して人間が乗れる工夫は出来ないか。	奥さんが病院に電話。息子が車で搬送。その後経過悪く化膿	右手薬指先骨折、切創	2
88	2	新潟県	1	64	2011	8	14:50	ライスセンター	水稻	フォークリフトを使用し、籾殻パイプを収納する作業を行おうとしていた。収納しようとした時、バランスを崩し、コンクリートの地面へ落下。	フォークリフト上から落下	安定性からすると、はしごより使いやすい。安全に考慮して人間が乗れる工夫は出来ないか。	周囲に作業していた人が救急車を呼んでくれた	手首複雑骨折・右股関節打撲	1. 2
86	3	福島県	1	51	2010	10	17:05	ライスセンター内	水稻	ライスセンター内で、フォークリフト車で籾の移動を行っていた者が、ライスセンターに入る際、受傷者の足を後部タイヤで轢く	フォークリフト車が狭い場所で作業していた。	周りに人がいないか、注意確認喚起。	共同作業で、周りに人がおり救急車要請、20分後到着	左足部、打撲	2

1 1. 乾燥機

連続 NO	機種 NO	地区 名	性別	年齢	受傷年月等			発生 場所	農業 種類	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 1 通院 2 死亡 3 通院せず 4 不明 -
					年	月	時								
89	1	岩手県	1	51	2011	9	10:00	籾乾燥調整施設	水稻	乾燥機に後付けした垂直オーガの靱を掃除しようとした時、誤って起動スイッチに触れてしまい右手指がオーガに巻き込まれた。	垂直立ち上がりのオーガーを掃除中、起動スイッチを押してしまい、巻き込まれた。	オーガの靱がきれいに排出できる設計。スイッチの位置、コードの配線など整理が必要。	仲間が救急車を呼んでくれ応急処置、他の高次医療機関に転送	右手第Ⅰ，Ⅱ指 挫創	1, 2
90	2	兵庫県	1	57	2009	9	16	格納庫	水稻	新しい乾燥機を入れるため、二人で古い乾燥機を解体中、梯子が傾き、2 m転落	狭い納屋の中での作業で、十分余裕を持ったはしごかけや、相方にはしごを支えてもらわず作業をしていた	・狭い納屋だからこそ、十分な安全確保を	自車で病院受診	右足踵骨骨折	1
91	3	愛媛県	1	62	2011	6	9	倉庫	水稻	法人倉庫にて、所有している米の乾燥機の点検が終わりハシゴで降りようとした際、誤って3.3m下のコンクリートの地面に転落した。	本来、乾燥機にかけてあるはしごの位置ではないところにはしごをかけてあり、上部にフックがあり、本来フックのかかる場所でないため、横滑りしやすい状態で使用しており、また降りるスタイルも、後ろ向きではなく、前向きに降りようとしていた	乾燥機のはしごからの転落事故が多数発生しており、さらに事例を集めて、その共通する原因の検討が必要	近くで作業していた人が救急車を呼び病院搬送	鎖骨骨折	1

12. 管理機

連続 NO	機種 NO	地区 名	性別	年齢	受傷年月等			発生 場所	農業 種類	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 1 通院 2 死亡 3 通院せず 4 不明 -
					年	月	時								
92	1	愛媛県	1	68	2011	11	13	水田	畑作	小麦の生産組合で管理している圃場で、乗用の防除機を使用し除草剤を散布するため圃場に入ろうとした際、通常は1速のところ2速で侵入し、平坦地から斜面に入る時に右にハンドルを切ったとき、ハンドルがとられて防除機が横転し下敷きになった。400Lのタンクにほぼ満杯の350Lが入っており、重量が重く、かつ進入路も通常は、生産組合で管理する隣の畑から、畦越えした方が安定であったが、天気予報が降雨がくると予想していたので慌てていた。	管理機は、田植機と同様、前輪と後輪の距離が短く、安定性が悪く、スピードをだしたまま、急ハンドルをきった、また降雨予報で焦っていた	急ぐ時ほど、忠実に安全策を、急がば回れ	一緒に作業をしていた生産組合の人が救急車を呼び病院へ搬送	左足骨折	2
93	2	佐賀県	1	50代	2011	8	16	田農道	水稻	乗用管理機で殺虫剤を散布中、散布アームを路肩の草にまで薬液がかかるようにと路肩まで延ばして、道路を走ってきた乗用車に接触し、アーム部分を損傷。道路幅は3.5mと狭く、路肩の草丈も30cm程度あり、	道路まで、管理機のアームを伸ばしていた	アームを道路まで伸ばす際は、工事用の三角柱・コーンなどを設置	人の怪我はなし	なし	4

13. 運搬車

連続 NO	機種 NO	地区 名	性別	年齢	受傷年月等			発生 場所	農業 種類	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 1 通院 2 死亡 3 通院せず 4 不明 -
					年	月	時								
94	1	富山県	1	30	1985	4	16	畑	畑作	コンバインを改造した運搬車で堆肥を散布終了後、畑の畝を移動中、波乗りの様になり、運搬車から1mぐらい飛び上がり、レバーに突き刺さるように落下	運搬車が空になり、仕事終了の安堵感から、畝越えを楽しんでいた。	運搬車は、荷重がかかっている場合、空になった場合、特に重心の位置がかわり、とりわけ、畝越えには、直角に入る等、安全の基本的操作の遵守	痛みを堪えて、家にたどり着き、妻が搬送	肋骨骨折	1
95	2	兵庫県	1	78	2011	7	18	田進入路	水稻	運搬車で肥料を30aの田んぼに追肥をした帰り、側溝に転落し、意識不明	・本人死亡のため、十分分からないが、側溝と道路幅が接近、狭隘	・道路改修	通りがかりの人が見つけ、消防に連絡、そのときは意識があった。	脳梗塞にて、60日後死亡	3

14. 藁カッター、15. 電動ノコギリ、16. 米選別機、17. ライムソー、18. 除雪機

連続 NO	機 種	地 区 名	性 別	年 齢	受傷年月等			発 生 場 所	農 業 種 類	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 1 通院 2 死亡 3 通院せず 4 不明 -
					年	月	時								
96	藁カッター1	長野県	1	55	2010	11	8	田	水稻	固定式のワラカッターが詰まったので、エンジンを止めベルトを手で回したら、その反動で指がベルトに挟まって負傷	藁カッターのベルトにカバーがなく指を挟んだ。	機械の危険な箇所にはカバーが必要	携帯電話で奥さんを呼び、病院搬送	左手小指裂傷	2
97	藁カッター2	長野県	1	59	2009	12	14:00	ブルーン畑	水稻	自走式ワラカッターで、藁を裁断していた際、カッターに藁が詰まったので、エンジンを止めずにカバーを外そうとしたら、カバーが10mぐらい空中に吹っ飛び、落ちてきたカバーが頭に当たった。	藁カッターの振動でボルトが緩んだ。カバーが一気に外れ、飛んだ。	カバーなどの固定は、バネなどを工夫し、少しの振動では外れない工夫が必要	30分失神。意識回復後、自宅で休養、病院受診せず	頭部裂傷、打撲	2
98	電動ノコギリ	長野県	1	74	2011	2	14	小屋	畑作	朝鮮人参の日よけ用の杭をつくるため、製材中に木片が飛んできて額に当たって受傷。17針縫った。	資材を購入しては採算が合わないため、自作の杭をつくるが回転ノコギリによる怪我が絶えない。	防護用ヘルメット、ゴーグルなどの着用義務化	家人が救急車を呼び、病院へ急行。整形外科医待機、緊急手術	前頭部挫創・外傷性健忘	1
99	電動カンナ	長野県	1	70	2011	2	11	畑	水稻	はげかけ棒を電動カンナで削っていて、負傷	電動カンナの威力を甘く見ていた。	ヘルメット、皮手袋などの防護策が必要	奥さんの車で病院搬送。X線	左手薬指切創	2
100	米選別機	新潟県	1	56	2010	8	11:00	作業所	水稻	縦型米選別機を掃除・点検していた。米を選別するハイホンを取り出したところ、ハイホンの一番下の部分が左足に接触し負傷した。	ハイホンを取り出した。	掃除・点検が容易に来る工夫。	出血が酷かったのので、親戚に電話し病院へ搬送してもらった。	左膝裂傷・左膝蓋骨剥離骨折	2
101	ライムソー	愛媛県	1	60	2010	6	14	畑	畑作	大豆畑において、肥料をまく機械（ライムソー）で苦土石灰を散布中、トラクターのエンジンはかけたまま、PTOは切って、排出口のゴミをプライヤーで取り除こうとした際、取り除いた瞬間開閉口が閉まり指が切断された。	ゴミを取り除くと、開閉口が閉まることを知らなかった	ライムソーのゴミつまりに対する対処方法のマニュアル化、またもっと詰まらないものが開発できないか	近くにいる娘さんに連絡し、病院に連れて行ってもらった	人差し指尖部損傷	2
102	除雪機	新潟県	1	61	2012	1	6:30	家の前の県道	除雪	除雪機が側溝に落ちそうになったので、除雪機を止めようとしたら足が滑って、安全装置に左足膝下をぶつけ負傷した。	除雪機が側溝に落ちそうになった。足が滑った。	道路環境整備。スパイク付きの靴着用。	事故6日後に青あざが酷く心配になり自車で受診	左足打撲	2

＜農機事例＞ II. 果樹関係

1. モノレール、2. S S

連続 NO	機種 NO	地区 名	性別	年齢	受傷年月等			発生 場所	農業 種類	事故状況	主要原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 1 通院 2 死亡 3 通院せず 4 不明 -
					年	月	時								
103	モノ レール 1	愛媛 県	1	43	2 0 1 1	5	9	樹園地	果樹	剪定枝を片付けるためモノレールに乗車していた時に、レールと車輪に枝が挟まり取り除いた瞬間、動力機が動き出し、急降下し20m降下時点で乗車したモノレールから投げ出された。モノレールはそのまま、30m下まで降下した。 葉っぱや草が挟まった時は、今までもモノレールが滑り落ちるのを知っていたのだが、今回は枝であり、何気なく枝を取り除いた途端、滑って急降下した。	人が乗車できるタイプではないモノレールに乗っていた、枝がレールとモノレールに挟まった時、除くと滑るとの認識はなかった	・乗車タイプに入れ替えるには、多大な投資が必要であり、何らかの支援が必要、実際の現場は、モノレールに乗らないと作業ができないような急斜面であり、軽トラが入るような道の整備など、支援が必要	5分ほど倒れ込んだ。携帯電話で妻に連絡。自力で道路まで下り、妻の車で病院搬送。	腰椎圧迫骨折（6番目）	1
104	モノ レール 2	愛媛 県	1	54	2 0 1 1	10	1 6	樹園地	果樹	防風垣の整備整備に使用したはしごと刈り払い機を車まで運ぶためモノレールに乗車中、はしごとが防風垣に当たり、はしごとモノレールの台車の枠の間に足が挟まれ負傷した。	はしごと、草刈機(3m)と一緒に抱えてモノレールに乗ったため、かなり不自然な姿勢で、防風垣を避けきれなかった	・乗車タイプのモノレールに替える（ただし、先のモノレールと同様、支援が必要）、障害物がある場所では、降車、あるいは減速する	事故翌日、痛みが引けないために職場の同僚の車で病院へ連れて行ってもらった。	右足（すね）の打撲	1
105	S S	富山 県	1	62	2 0 1 0	6	5	樹園地	果樹	樹園地（柿）で自走式噴霧機（スピードブレーカー25年前）で農薬散布中、薬剤の吐出少なくVベルトが緩んでいると思い、Vベルトをエンジンをかけたまま、指で持ち上げた時、テンションがかかった状態になりベルトが回転しVベルトとプーリーの間に指を挟まれ負傷。挟まった左手を助けようと、右手でさらにベルトをもっちあげてさらに右手も巻き込まれた。転作の会議が8時からあり、早く終わらせたいと、焦りもあった。 結局、テンションが緩かったのではなく、給水管側に小さい穴が空いていて、空気がもれていた。	エンジンを止めずにベルトのテンションの緩みを確認していた	回転部の点検時はエンジンを止める 事前のメンテナンス	家から3kmあり、直接、4km先の消防署へ15分で行き救急車を出してくれとお願いして出してもらった。携帯はもっていなかった。近くの総合病院へ相談したが、対応できないとの事で、厚生連・形成外科のある所へ、搬送された。指の外科、形成外科のある所への搬送が決まるまで時間がかかっている	左小指DIP関節開放性脱臼骨折、右中指切断 右環・小指不全切断	2

3. 柿ヘタ取り機、4. リフト

連続 NO	機種 NO	地区 名	性別	年齢	受傷年月等			発生 場所	農業 種類	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 1 通院 2 死亡 3 通院せず 4 不明 -
					年	月	時								
106	柿ヘタ取り機	富山県	2	51	2009	11	10	作業場	果樹	ヘタ取り機使用中、カッターの向こうにあるゴミを除こうとして、手前のヘタ取りカッターで右手を負傷	機械には、カッター注意と書いてあるが、思わず、ゴミのみに注意が集中して手が出た	カッターとバックの背景の機械本体の色の配色が悪く、カッターの存在が見にくく、カッターや本体の配色の工夫が必要、	家人に知られたくなく、何気ない様子で抜け出して受診	右手切創	2
107	リフト	長野県	2	68	1992	5	11	りんご畑	果樹	フルーツワーカーの支え金属が壊れ、230cm上から、乗ったまま下に落ち、1回バウンドした。その反動で受傷した。	想定外の突然の落下	最も重要な金属の支え部分が一枚の鉄板ではなく、溶接で繋がっていた。重量のかかる部分への設計指導が必要	仲間の車で病院受診。知識不足で共済保険活用せず。	左足筋断裂	2

＜農機事例＞ Ⅲ. 酪農・畜産関係

1. マニユアスプレッダー、2. ワンマンハーベスター、3. スキッドローダー、4. タイヤショベル、5. トレーラー

連続 NO	機種 NO	地区 名	性別	年齢	受傷年月等			発生 場所	農業 種類	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 1 通院 2 死亡 3 通院せず 4 不明 -
					年	月	時								
108	マニユアスプレッダー-1	栃木県	1	54	2011	12	14:00	県道と町道の境	酪農・牧畜	マニユアスプレッダーを牽引し、堆肥散布のため道路走行中、右折時に後ろから追い越してきた乗用車にトラクター右側方後ろより追突され、相手の車とトラクターと共に大破。	公道を走っているマニユアスプレッダーなどの低速車を、後方から来る普通乗用車などが確認できない。右折の後方確認不足。	道路交通法との関連で、マニユアスプレッダーを牽引してもいいような改正が必要。同時に回転灯、尾灯の整備義務などの検討。	10日経った後に受診	右肩打撲	2
109	マニユアスプレッダー-2	福岡県	1	56	11	9	20	自宅から約1kmの公道	酪農・牧畜	マニユアスプレッダーに堆肥を乗せて、公道を走行中、緩い下り坂の所で、後ろから来た、ビッツに追突され、マニユアスプレッダーは、左ガードレール側に横転、牽引していたトラクターは右に横転、本人は、左ガードレールを越えてはじき飛ばされる	マニユアスプレッダーの後部の反射板は、糞で汚れていて見えにくく、また緩い下り坂で、トラクターのライトも下向きで後方からは、見えにくい状態であった	ケン引き車両の尾灯の設置など、法的に処置は、また、工事用の三角柱などで、「現在、ケン引き車走行中」の表示、あるいは、誘導車をつけるなどの工夫	しばらく気を失った。事故の相手方・乗用車の運転手が救急車を呼んで病院搬送	全身打撲、肋骨骨折、骨盤骨折	1
110	ワンマンハーベスター	北海道	1	20	2005	10	14:10	作業所前の道	酪農・牧畜	ワンマンハーベスターに残った残草を掃除するため、ゆっくりと搬送チェーンを回しながら掃除をしていて、角のゴム板のところが、穴抜けになっているのが分からず右足を踏み入れ、下のチェーンと上の逆向きに動くチェーンに羽交い締めとなり、膝から下を引きちぎられた	ワンマンハーベスターの設計ミスによる草の詰まり	機械の改良時には過去の事故事例に学んだことを公表する必要がある。製造者責任。	家族が近隣の病院へ自家用車で搬送、その後救急病院に転送	右下腿、断裂	1
111	スキッドローダー	北海道	1	43	2011	7	14:00	敷地内酪農	酪農・牧畜	スキッドローダーでトウモロコシのラップサイロを突き刺し、持ち上げ、降りてカッターナイフで下面を切り裂いたところ、泥の混入が認められ、慌ててスキッドローダーに乗り込もうとして、アームのアタッチメント基部に頭部を打ち付けた	スキッドローダーのアームの基部が死角になっていた。	不良品に対するいらだち。一人作業での忙しさ。ヘルメットの着用。	30分失神。意識回復後、従業員が病院搬送。43針縫ったが、入院せず。	頭部裂傷	2
112	タイヤショベル	北海道	1	60	2010	6	18:45	畜舎と牧草地の間	酪農・牧畜	牧草地と畜舎の間の斜面を、タイヤショベルで除草目的でならして、バケットを上げて、バックで走行中、斜度がきついで、左に横転、体をかばった際に、回転のハンドルのハンドルに手をひっかけて切る	斜度のきついでところをタイヤショベルでバック走行	農機の重心の高さによる不安定性を確認する講習会	事故後30分、作業をさせてから奥さんに病院へ送ってもらった。破傷風の危険あり、注射	左手、親指手掌部裂傷	2
113	トレーラー	岩手県	2	63	2011	6	16:00	自宅内のハス前	酪農・牧畜	トレーラーに積載していた牧草のバールを降ろそうとして、誤って落下、トレーラーの後ろの角に背中を打ちつける。	いつもと違うトレーラーの使用。夫婦の役割が逆。手順の違い。雨模様による心の焦り。	シートを被せて様子を見る心の余裕。	5分ぐらい動けなかった。翌日夫の車で病院受診	肋骨打撲	1

農機・畜産酪農、マニユアスプレッダー他

＜農機事例＞ 4. 大規模畑作関係

1. 玉ネギハーベスター、2. ポテトプランター

連続 NO	機種 NO	地区 名	性 別	年 齢	受傷年月等			発生 場所	農業 種類	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 1 通院 2 死亡 3 通院せず 4 不明 -
					年	月	時								
114	タマネギハーベスター	北海道	1	45	2009	8	17:00	タマネギ畑	畑作	タマネギハーベスターの運転席に乗り、タマネギ拾い上げ作業を行っているとき、タッピングローラーに雑草がつまり、タマネギ搬送の邪魔になるので、右手で取ろうとして右手第4指が巻き込まれた	タッピングローラーにカバーがされていなかった。	簡単にカバーが外せる機械的改善。詰まりを減少する機械的工夫。エンジンを止める。	家族が通報。救急車で搬送	右手第4指切損	2
115	タマネギハーベスター	北海道	1	53	2011	9	14:30	タマネギ畑	畑作	タマネギハーベスターでの堀取り作業を終え、ピッカに乗り換えようと運転席から前を向いて降りる際、右かかとがクラッチペダル下端に引っかかり、右かかと負傷	運転席が狭く、降りるとき足が引っかった。	クラッチペダルにゴムの被服が必要。後ろ向きに降りることの徹底。	家族の車ですぐに受診。「安静に」と指示があったが作業を続けたため、治癒まで1か月と長引いた。	右足かかと裂傷	2
116	ポテトプランター	北海道	2	49	2011	5	8:30	ジャガイモ畑	畑作	傾斜した圃場でジャガイモの種芋をポテトプランターで植え付け作業中、フィーダーボックスから種芋が続け様に出て来て、そのうちの 하나가、進行方向左に転がったため、被害者がそれを取ろうとして、左手を伸ばした時、搬送コンベアの左折り返し点でカバーとの隙間に小指先を挟んだ	フィーダーボックスに種芋が続けざまに出てきて、転がった。それを拾おうとして、挟んだ。	コンベアのヒレが鉄板で物が逃げにくい。直装式作業機に作業者が乗ることが不適切。	すぐに家族が病院へ搬送受診。欠損部分にもものが触れると今でも痛い	左手第5指先端欠損	2

＜農機外事例＞ I. 用具・手具関係

1. 三脚・脚立

連続 NO	機種 NO	地区 名	性別	年齢	受傷年月等			発生 場所	農業 種類	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 1 通院 2 死亡 3 通院せず 4 不明 -
					年	月	時								
120	三脚・脚立1	栃木県	1	59	2011	12	11:00	納屋	水稻	納屋の中に間仕切りをするために、ラブシートを天井の直管パイプからバックカーを使用して床まで下げる作業をしていた。3枚目を下げる作業時に脚立の足が滑って開き、1.2m落下してコンクリート床に左肩を強打。	脚立のくさをりを填めていなかった。	脚立の開きによる事故は多い。くさりやヒモを掛けることの徹底。	1週間ほど様子を見て、痛み取れず整形外科受診	左肩打撲	2
121	三脚・脚立2	長野県	1	70	2011	8		畑	果樹	もも畑で収穫作業中、脚立からバランスを崩して転落。脚立の1段目、2段目のフレームがゆがんだ。	脚立のくさをりを填めていなかった。	脚立の開きによる事故は多い。くさりやヒモを掛けることの徹底。	奥さんの車で病院搬送。MRI, CT	胸椎圧迫骨折・腰椎横突起骨折	1
128	三脚・脚立3	富山県	1	71	2006	11	16	果樹園	果樹	柿収穫中、約3mの3本足の三脚がつぶれ、転落	三脚の足と足の間が広く広げたため、間にかける鎖が届かず、かけていなかった	実際の現場では、三脚の足の間の鎖以上の距離で足を伸ばして使うことが多く、別にヒモなどをもって、鎖の代わりにヒモで固定する等の工夫が必要	しばらく休んで、さらに残りの作業をして、軽トラで帰宅、息子に運転してもらって受診	第2腰椎圧迫骨折	1
129	三脚・脚立4	愛媛県	1	65	2011	8	8	樹園地	果樹	緩やかな傾斜の果樹園で、果実袋の被覆作業中、1m程度の高さの3本足の脚立の一番上に乗って作業中、突然、脚立がつぶれ、転落、斜度20°のところ3m転落、さらに斜度31°の斜面を1m転落、肩を強打	3本足の脚立の足を大きく開いて作業をしていたため、中心の固定用の鎖が短くてかからなかったため、鎖をかけずに天板に乗って作業をしていた	鎖が短い場合、ヒモなどで補助的に延長して、開脚部の固定を図る	しばらく我慢して作業続行。痛みが引けないので自車で病院受診	左肩の打撲	2
123	三脚・脚立5	長野県	2	73	2011	6	17	畑	果樹	ブルー摘果中、脚立がぐらついて転落	足場の不安定な場所での脚立の使用	脚立の転倒防止策の科 学が必要	翌日病院受診。ベルト固定。その後入院	第1腰椎圧迫骨折	1
122	三脚・脚立6	長野県	1	75	2010	6	15	畑	果樹	ブルーの枝を調整中、固定してあったマーカー線がハクビシンによって切られており、その反動で脚立から落下	ブルー枝の調整で脚立から落ちた。	脚立の転倒防止策の科 学が必要	奥さんの車で病院搬送。X線	右アキレス腱断裂	1

1. 三脚・脚立

連続 NO	機種 NO	地区 名	性別	年齢	受傷年月等			発生 場所	農業 種類	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 1 通院 2 死亡 3 通院せず 4 不明 -
					年	月	時								
124	三脚・脚立 7	長野県	1	61	2012	2	13:30	ブールン畑	果樹	脚立に上って35年もののブールンの枝きりを、高枝切機で作業中、切った枝が落ちてくるのを防ごうと首を前に倒して、むち打ち症になった。	高枝ハサミで枝を切ると、鋭角な切り口が自分に向かって落ちてくる。	防護用ヘルメットの着用義務化	脚立から自力で降り、しばらく休んだが、吐き気止まらず、2日後受診	首むち打ち症	2
125	三脚・脚立 8	富山県	1	74	2009	10	18	納屋	水稻	納屋に糶摺り機を設置、もみ誘導樋を2～3mの高さに取り付けようとして、脚立ののって作業中、バランスをくずし、コンクリート床に落ちる	誘導の樋は、長く、脚立を上る時もバランスが崩れ易い。脚立での重量物の上げ下げは、バランスを崩しやすい	重量物を脚立などで上げ下げする場合、介助者をつける、あるいは、別の方法で重量物を上げ下げする機械、用具の開発を	接骨院を自分で受診、翌日総合病院受診、骨折判明	右足関節内果骨折	2
127	三脚・脚立 9	富山県	1	71	2010	11	8	畑	果樹	渋柿の収穫中、柿を入れたかごをもったまま三脚と共に倒れ受傷	三脚不安定、柿を収穫していると次第にかごが重量が増して、さらに不安定、かつ仰向き作業	脚立の改善、脚立などでの重量物の運搬等を軽減する工夫	一緒にいた人が携帯ですぐに連絡、救急車畑まで来る	左脛骨外顆骨折	1
126	三脚・脚立 10	富山県	1	67	2010	5	10	作業場	水稻	営農組合の田植作業のハウスのビニールを片付け中に、ハシゴが突然つぶれて落下、かかとを骨折した。2m転落	脚立を伸ばしてはしごととして使っていたが、伸ばしてかけ方が裏表反対であった。	脚立を伸ばして使うハシゴをもし逆に立てかけたとき、逆側には、赤のペンキなどを塗り注意を喚起する	近くにいた人が、搬送、1時間後病院に到着、2時間後より手術	左踵骨骨折	1
130	三脚・脚立 11	愛媛県	1	73	2011	8	12	倉庫	管理	当日、突然時間雨量21.5mmと猛烈な豪雨が発生し、機械倉庫隅に設置した雨樋から雨水があふれ出していたため、電気器機や配電盤に水がかかっては大変と、脚立を折り返したハシゴに登り、トイ内ゴミを除去し、はしごから降りる際右手を滑らせ、215cmの高さから、バランスを崩して落下、両足で着地したが、両足を骨折	長靴を履いていたが、雨で体もはしごも濡れており、滑りやすい状態であった。	電気の配電盤やタイムコーダーなどが、雨樋の近くに設置してあり、配置換えが必要、脚立をはしごとしたときの安定性の検討が必要	携帯電話で息子に連絡。息子が手配した救急車で病院搬送	両足の骨折	1

2. はしご、3. カケヤ

連続 NO	機種 NO	地区 名	性別	年齢	受傷年月等			発生 場所	農業 種類	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 1 通院 2 死亡 3 通院せず 4 不明 -
					年	月	時								
117	はし ご 1	北海道	1	60	2 0 1 1	1	8 : 3 0	畜舎内	酪農・牧 畜	搾乳作業中、ミルカーの調子が悪く、畜舎二階にある部品を取りに行き、部品をもったまま、はしごが滑り、はしご最上段、2mより落下。はしごの下は、雪が吹き込み、滑りやすくなっていた	掛けたはしごが雪で滑って外れた。つかまるところがなかった。	はしごが外れない工夫。はしごの科学必要。	しばらく失神。寒気で気づき、近隣の病院から救急病院に転送。MR I, C T撮影	全身打撲	1
118	はし ご 2	新潟県	1	73	2 0 1 1	2	6 : 3 0	納屋	管理	農機具が収納されている作業所の補修を行おうとして、アルミハシゴを使用し、登っている時、バランスを崩し地面に落下し、膝を強打した。	はしごからバランスを崩して落下	アルミはしごが滑らない工夫。止めを作るなど科学が必要。	事故直後は痛くて立ち上がれなかった。家族に送ってもらい受診。紹介状で他の病院に入院	左膝蓋骨骨折	1.2
119	はし ご 3	愛媛県	1	63	2 0 0 5	9	1 4	樹園地	果樹	防風垣にハシゴ(3mを) かけて一番上の段に乗り、防風垣(杉の木)をノコギリを使って防風垣の杉の木の高さをそろえるため剪定中、足場が不安定なために、杉の木に足をかけたとき、足をすべらし誤って5m下の園地に一回転して転落した。	高所作業で、足場が安定的に確保できていなかった	高所作業での足場が安定的に確保できる工夫を	妻の車で病院受診	第2腰椎圧迫骨折	1
131	カケ ヤ	滋賀県	2	70	2 0 1 1	6	1 2	小菊畑	畑作	畝端への杭打ちで杭を支えていたときに、もういいと思っていたが、相方がもう少し打ち込もうと「もう一回」とカケヤを振り下ろして、杭の上に手を置いていてカケヤで手を打たれた。	相方との意思疎通の欠如	・二人作業の場合、互いに、「だろう」ではなく、必ず次ぎの行動をする時には声を掛け合う ・大量の杭打ちをする場合は、市販の杭支えなどを使用する		左手第3指と第4指の、ともに第一骨を押しつぶされたの複雑骨折	2

＜農機外事例＞ II. 特になし

1 歩行、2 火傷、3 木のぼり

連続 NO	N 機 O 種	地区 名	性 別	年 齢	受傷年月等			発生 場所	農業 種類	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 1 通院 2 死亡 3 通院せず 4 不明 -
					年	月	時								
132	歩 行 1	富 山 県	1	61	2 0 0 8	7		田	水稻	素足で田の溝きり中、かりんの小枝を踏む	素足で、何が落ちて いるか分からない、 水田、圃場に入った	昔の田んぼであれば、 ほとんど異物がなかつ たと思われるが、現在 は何かあっても不思議 ではなく、防護の徹底 が必要	自車で病院受診。破 傷風の注射を受ける	破傷風	1
133	歩 行 2	富 山 県	1	62	2 0 1 0	7	1 6	田	水稻	上記と同様に、素足で釘を踏む	素足で、何が落ちて いるか分からない、 水田、圃場に入った	昔の田んぼであれば、 ほとんど異物がなかつ たと思われるが、現在 は何かあっても不思議 ではなく、防護の徹底 が必要	自車で病院受診。膿 を出す	左足蜂窩織炎	1
134	歩 行 3	愛 媛 県	1	81	2 0 1 1	4	1 5	樹園地	果樹	樹園地から農道へ出よう約30cmの傾斜した ところから、20cmの水路を跨いだ際に、上 手く超えることができず転倒し、右目尻を 打撲した。跨いだ先は、約40° の傾斜であ り、不安定な場所であった。	高齢により、昔は簡 単に超えられた溝等 も十分に飛び越えら れなかった、なお本 人は前年(80歳)時に 樹園地で石に躓いて 転倒、81歳時にジャ ガイモ選別中にバラ ンスを崩して転倒・ 負傷している	高齢者が野外で作業を するための補助階段の 設置など、障害者が街 中を歩行するために配 慮されているような視 点を、農作業現場にも 持ち込む必要がある。	自車で病院受診	右目尻の打撲	2
135	火 傷 1	富 山 県	2	59	2 0 0 9	9	1 1	畑	管理	畑で草を燃やそうとして、油をまいて火を つけたところ、一瞬に炎が燃えあがり顔・ 上肢にやけど	本人は単なる油と 思っていたが、混合 油であったらしく、 混合油がほとんどガ ソリンと同じように 危険との認識がな かった	草を十分乾燥させてか ら処理、また油類を使 うときは、種類を確か める	自ら、シャワーを浴 び、夫に総合病院へ 連れて行ってもらう	両側上肢Ⅱ度 熱傷 顔面熱傷	1
136	火 傷 2	富 山 県	2	68	2 0 0 9	4	1 1	休耕田	管理	休耕田の枯草を焼いていて、近くで、別の 作業をしていたところ、気がついたら、思 いもがけないところまで火が広がってお り、このままでは、山全体に火が広がると 思い、慌ててそこらにあるもので、たたい ていて服に火が付き火傷	予定していた以上 に、火が広がった	野火をする場合は、火 が消えるまで最後まで 目を離さない	三輪車で家に帰り、 夫が運転して総合病 院受診	熱傷（2度顔 面、手掌、臀 部）	1

連続 NO	N 機 O 種	地区 名	性 別	年 齢	受傷年月等			発生 場所	農業 種類	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 1 通院 2 死亡 3 通院せず 4 不明 -
					年	月	時								
137	木のぼり1	富山県	1	73	2009	2	10	庭	果樹	はしごをかけて柿木の剪定中に木から転落	雨上がりであって、ハシゴから木に移った時、木は肌がぬれていて滑りやすく、枝から足を滑らせた	柿の木は特に、滑りやすく、雨後の作業は避ける	息子が昼に帰るまで、我慢して家で待って、昼に息子に連れて行ってもら	第2第4腰椎圧迫骨折	1
138	木のぼり2	愛媛県	1	72	2010	11		樹園地	果樹	みかんの樹に上り収穫作業中、みかんの樹の枝が折れて転落。	みかんの樹は、樹高は低いものの、地面に接するように、枝葉が茂っており、脚立等が、樹幹に接近することが困難であり、直接、樹に昇らざるを得なくて、枝が折れた	低木性でありながら、樹幹が地面まで覆っているような果樹に対する、作業機の開発は考えられないだろうか	一緒に作業している人が病院に連れていてくれた？	肩・指の骨折、頭を7針縫った	1

4. 運搬、5. 階段、6. 草むしり、7. 手仕事

連続 NO	機 種	地 区 名	性 別	年 齢	受傷年月等			発 生 場 所	農 業 種 類	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 1 通院 2 死亡 3 通院せず 4 不明 -
					年	月	時								
139	運搬 1	長野県	2	83	2010	11	13	田	水稻	稲こきを終え、はぜかけ棒を片付けようとしてよじけて尻もちをついた。	はぜかけ棒を持とうとしてぎっくり腰。	重いものを持つことの注意喚起	夫の車ですぐに受診	第1腰椎圧迫骨折	1
140	運搬 2	愛媛県	1	48	2011	5	14	倉庫	果樹	使用した防除タンクを残液を捨てようとタンクを持ち上げた際、軽トラが死角になり右から来たミニバイクに気づくのが遅れ、避けようとした瞬間、用水路の穴に足がはまり転倒した。	狭く、傾斜のある道路で、かつ曲がりくねっていて、左右の見通しが悪かった	・工事用のポールなどを立て、作業中であることをアピールすることなど必要	一緒に作業していた友人の車で病院搬送、骨折と分かり他の病院へ転送	大腿骨頸部骨折	1
141	階段	富山県	1	55	2003	9	17	納屋	管理	雨が降ってきて、急いで納屋の二階の窓を閉めようとして、足を滑らせ、二階から転落	あせりと、階段まわりが雑然としていて、飛び越えようとした	手順の遵守、整理整頓の徹底	妻が気づいて、病院へ連れて行く	背部打撲	1
142	草むしり	愛媛県	2	76	2011	3	15	樹園地	果樹	自宅横の柑橘園地において、バック・後ずさりしながら草取りをしていた。等間隔に防風垣の木があり、当然端に行けば木に当たっていたが、台風で折れ、枯れたので家人が切っており、それでバランスを崩して3m下の道路に転落した。	あると思う物がなくなっていた	なれた場所であっても、常に作業前に現場の状況の確認を	近所の人が発見、通報してくれた。頭を打ったので息子の嫁が脳神経外科に搬送、その後転院	右足骨折	1
143	手作業	長野県	2	83	2011	6	15	土手	果樹	斜面のりんご畑の土手で、鹿除けの網を張ろうと杭代わりに木の枝に結びつけようとして、滑って転倒した。	傾斜のある土手での作業中、転倒落下	鹿による被害防止策が必要	娘夫婦が病院搬送。しばらく自宅休養。痛みとれず受診。後遺症あり。コルセット装着、杖歩行	第12胸椎圧迫骨折	1

＜農機外事例＞ Ⅲ. 生き物

1. 牛

連続 NO	機種 NO	地区 名	性別	年齢	受傷年月等			場 発 所 生	農業 種類	事故状況	主要原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 1 通院 2 死亡 3 通院せず 4 不明 -
					年	月	時								
144	1	北海道	2	52	2007	4	16:30	牛舎	酪農・牧畜	パーラーで搾乳後、人工受精をする人に牛を見せるため、モクシで親牛を繋ぎ牛の前に立って引っ張っていたところ、牛が暴れ突進してきて、避けきれず、牛の頭で体を押され転倒。転倒した際、通路の鉄パイプに額をぶつけ牛に全身を蹴られ、負傷	検査員が来ていたの でいつもと手順が違 った。牛に蹴られ た。	手順の確認。気の荒い 牛のマーク。	ご主人が病院へ搬 送。頭を強く打った のでMRI検査	頭部打撲	2
145	2	北海道	1	23	2011	8		パドック	酪農・牧畜	乾乳牛を離していたパドック（柵）の中に入って、出産間際の乳牛を独房舎に入れようとしていた所、別の牛が走ってきたので、急いで柵をくぐって逃げようとしたが間に合わず、柵と牛の間に全身を挟まれた、元々、その牛は、被害者に日頃から攻撃的な態度を取っており、用心していたが、間に合わなかった。	被害者に日頃から攻 撃的な牛に追われ た。	気の荒い牛もいる。注 意が必要。	近隣の開業医受診	腰背部、打撲	2
146	3	北海道	2	49	2011	6		牛舎	酪農・牧畜	搾乳作業中、搾乳を終了した牛がパイプラインミルカのエアホースををいたずらして抜いた。そこから埃を吸い込んでは大変と思い、慌てて駆け寄って牛が並んでいる間に入ってエアホースを接続し、大声で牛を叱って叩いたところ、牛が尻を振って被害者の左足を踏んだ。普段は真上から踏まれて、真上にどけるので大事には至らないが、その時は踏み方がこするようであったので、負傷がひどかった。	いたずらした牛を 叱って叩いたら、そ の拍子に尻を振って 足を踏まれた。	気の荒い牛もいる。注 意が必要。	事故の10日後に受 診。日数が経ってい たので処置できず。 痛みがとれるまで2 か月	左足甲、2カ 所骨折	2
147	4	北海道	1	49	2011	7	12:00	牛舎	酪農・牧畜	牛と牛の間に入っている敷藁をフォークでならしていたら、突然、背後の牛が被害者の右肘にぶつかり、その拍子にフォークで左足親指に突き刺した。フォークは長年使っており、コンクリートの床に擦れるうちに、先端が細く鋭くなっていた。	背後にいた牛がぶつ かってきた拍子に 持っていたフォーク で足を刺した。	牛と牛の間隔に余裕を 持った牛舎の設計も重 要。	すぐに病院受診。破 傷風の注射。	左足第1趾刺 創（貫通）	2

1. 牛

連続 NO	機種 NO	地区 名	性別	年齢	受傷年月等			場 発 所 生	農業 種類	事故状況	主要な原因	提案・改善策	医療情報	傷病名	入院 1 通院 2 死亡 3 通院せず 4 不明 -
					年	月	時								
148	5	北海道	1	24	2011	8		フリー ストール牛舎	酪農・牧畜	分娩を終えた牛にモクをつけてフリーストール牛舎に連れて行く途中、暴れて、乾乳牛舎とフリーストール牛舎の間に走って逃げた。右手で繋ぎ縄を持ったままだったので、つられて走って転んだが、牛が止まったため起き上がって、牛がそれ以上遠くに行かないようにフリーストール牛舎の窓のポールを左手で掴んだが、再び牛が動き出した拍子に前のめりになり転んだ時、牛の後ろ足に顔面をぶつけた。	分娩を終えた牛を連れて行く途中、後ろ足で蹴られた。	普段と違う条件の牛は人に寄ってくる習性がある。注意が必要。	搾乳を終えてから病院受診、	顔面打撲	2
149	6	北海道	2	53	2011	7	18:00	牛舎	酪農・牧畜	事故当時、左脚ふくらはぎの腱を切っていてしゃがむことが困難であったため、搾乳前の乳頭清拭を牛と牛の間に入って中腰姿勢で行おうとして手を牛の乳房に伸ばしかけた瞬間、後ろ足で被害者の左、腰から膝ににかけてけり下ろした。	怪我をしていた。中腰姿勢で乳頭清拭をしようとして蹴られた。	牛に近寄りすぎない工夫ができないか。	1週間がまんしてから受診。他の病院でMR I 検査	左脚膝、挫傷	1
150	7	北海道	公社の複数の職員					北海道開発公社 十勝育成牧場	酪農・牧畜	牛との接触事故等	高さ20cmの敷居も牛には大きなハードル。肥育末期の牛には移動が困難になる。	牛舎環境を整える。牛にストレスを与えない工夫も必要。	-	-	-
151	8	岩手県	1	76	2009	10	15:00	牛舎 ツ隣のバ	酪農・牧畜	パドックから牛舎に牛を戻そうとしていたとき、後背部から子牛にマウンティングされた。	牛に後ろからマウンティングされた。	パドックの外で綱をつなぐ習慣をつける。	血尿。息子の車で近隣の病院受診。他の病院へ救急車で転送	肋骨骨折、肝臓損傷	1,2
152	9	岩手県	2	53	2011	10	6:30	牛舎	酪農・牧畜	搾乳中に牛の後ろ足で左手の指を踏みつけられた。	次の牛のことを考えて、目が離れたとき、牛に左手を踏まれた。	牛の行動に細心の注意を払う。	搾乳作業が忙しく、すぐには受診せず。	左手第Ⅲ指爪剥離 及び同第Ⅳ・Ⅴ指切創	2
153	10	富山県	1	54	2009	6	20:30	牛舎	酪農・牧畜	牛の搾乳中、足を上げる牛だったので胴締めをして乳搾りをし終わった後に乳頭が炎症を起こさないために、スプレーで後の両足の間からデッビングを後からかけていた時、牛が後方向に足を蹴り、中腰状態だったので、ちょうどその位置に頭があり蹴られた。	牛は主に、横に倒れ込んだり、横に向かって蹴飛ばしたりするのだが、真後ろで作業をしていた作業者に真後ろに蹴ってきた	牛の事故集積して、牛の体の危険マップ、ハザードマップの作成も。なるべく、近寄らないで作業をするようになった	事故後、電話で家に連絡し、救急車で総合病院へ、硬膜下出血はしていなかった。ゆっくり休みたいが、乳搾りがあり、1日のみの入院	頭蓋骨骨折 前頭骨骨折	1

農機外・生き物、1. 牛2